



## スポーツボランティア・フリートーク・フェスタ

昨年12月14日、SV2004とグランディ・21ボランティアの誕生5周年を記念し、仙台・宮城発「スポーツとボランティア」というテーマでイベントを開催しました。正式版の報告は現在作成中ですが、今月は速報版を掲載いたします。

### 基調講演「スポーツとボランティアのまち」

< 講師：宮城テレビキャスター 竹鼻 純氏 >

#### < 宮城のスポーツ >

昨日(12月13日)は仕事でしたが、心は(試合会場の)磐田に飛んでいました。最後は、マンUのような結果(ロスタイムでの大逆転)を期待したのですが、残念ながらベガルタはJ1昇格を逃しました。

私が1972年入社して36年間が経過、その間ニューススポーツに関わってきました。そして、つねに宮城のスポーツ状況を変えたいと一生懸命考えてきました。入社当時は国体の順位は45位に低迷し、その状況を打破したいと思い、ローカルニュースにスポーツ番組を組み入れたのです。

当時宮城にはプロスポーツはなくアマチュアスポーツしかなかったので、意識的に野球に偏っていた内容から学生や実業団のスポーツに注目しました。ただ、ここでも日本リーグの一部に所属していたチームが無かったことから、地元企業の77銀行や東北電力と面識を持ち、「日本リーグ」に上がってくれとお願いしたりもしたものです。ともかく、その後、ローカルニュースの中でのスポーツニュースは視聴者からの支持を得てきて、他局でも取り入れるようになったのはご承知の通りです。

次にJリーグ誕生の動きに対しマイナースポーツだったサッカーの勉強会を行い、協会内にチームの準備会を設立したり署名活動を行い結果的に33万人の署名が集まり県に提出したことで、その後のW杯・国体・インターハイ・ブランメル仙台(現在のベガルタ仙台)の誕生と宮城県におけるスポーツを取り巻く環境が一変し、その過程で、私自身も県サッカー協会の理事を勤めることになりました。尚、みなさんと形は違いますが宮城県サッカー協会を含めて、ほとんどのスポーツ競技はボランティアに支えられています(日本サッカー協会は別でプロ組織)。宮城県サッカー協会は常勤は3名のみで、他は全てボランティアとなっています。その後、スポーツをとりまく環境はめまぐるしく変わりました。ベガルタの成功が、他のスポーツ競技にも影響を与え(楽天・バスケットなど)この背景には必ずといっていいほど「ボランティア」がいて、その存在抜きには、宮城県のスポーツは語れないといってもいいほどになりました。



#### < ささまざまな課題 >

メディア側の問題として取材するための体制の問題があり、アマチュアスポーツを取り上げる機会が少なくなっています。どうしてもプロスポーツの楽天・ベガルタに人材・時間・機材を投入せざるを得ず、他に投入するだけの余裕が無くなったことが要因ですが、アマチュアスポーツ選手にとっては、取材し取り上げるだけで、競技に取り組む熱意が変わってくることを考えればぜひ改善していきたい点です。

スポーツは「見る・する・支える」と言われますが、最近「固定化」しているのではないのでしょうか。固定化されてきて「する人」がいない・「支える人」がいないといった現象が起きています。これでは優秀な選手は育ちません。忙しくなったのが原因ではあるのですが、特に、中学レベルでそうした固定化が著しく同じ人がいくつもの業務をこなすという状態がみられます。それ改善のためには「する人・見る人・支える人」の間にもっと流動性を持たせるべきではないかと私は思います。皆さんの方でも、積極的に働きかけをして若返りを目指し高齢化やボランティアの固定化だけは避けていただきたいと思います。

【 写真/左上 SV活動紹介・左下 会場準備 】



また、長期的な話をすると、スポーツ人口が減っています。まずはスポーツに誘い出す努力が必要で、昔の子供は、家に帰るとすぐ遊びました。その遊びがコミュニケーション能力を養うことになったのですが、現在は家に帰るとすぐゲームをする。これでは、コミュニケーション能力を養えません。「見る・する・支える」というサイクルを維持するためには、少しでもスポーツに誘いこむことが必要だと思います。また、スポーツイベントの運営側には最前線で活動するボランティアの要望を聞いて、その中で改善できる点は改善するなど余裕のある運営をしてもらいたいと思います。

### 報告：「楽天イーグルスこの4年」

< 講師：楽天野球団取締役副社長 池田敦司氏 >

球団活動全般についての報告部分は割愛させていただきました。

#### 2008年エコボランティア活動報告

- ・ ボランティアの平均年齢は50歳・平均参加回数は13回でした。
- ・ 2007年に店舗で使用する包材を統一したことにより、ゴミ総量は年々減少しています。
- ・ 1人当たりのゴミの量も減少。リサイクル率・分別率も向上。  
(お客様に浸透)
- ・ 「試合時間マイナス6%」(試合時間短縮で、電気使用量を削減し、CO2も削減/日本プロ野球機構全体でグリーンベースボールプロジェクトとして取組み)などで、30.5t削減できました。  
(昨年は21.1t削減)
- ・ ボランティアの手作りPOP作成や、夏スタエコブース(エコ検定・自転車発電機体験など)設置や、球団職員も地域清掃に参加するなど地域社会への貢献活動も行いました。



### 報告：「スペインでのスポーツボランティア」

< 元宮城テレビアナウンサー 岩瀬裕子 氏 >

< なぜ、ボランティアか? >

自分にとっては

<A> スペインのヨーロッパ初優勝を見届けたかった

<B> バスケットボールへの恩返し

一般的なボランティアの概念を日本とスペインの辞書でみると

- ・ 志願者や無償奉仕者(日本)
- ・ 自発的意思で行われるのであって、義務ではない(スペイン)

共通点は「自由意思に基づく」とこと、「志願兵」という言葉、一方違いは日本では「無償」と明記するがスペインでは「無償」とは明記していない。

< スペインでの活動体験 >

- ・ 「EURO バスケットボール大会」での、コミュニケーション部門で活動
- ・ 30人位在籍。ほとんど20歳代で自分が最年長だった。

・ 配布物 : Tシャツ(2枚) ボランティア参加証 記念グッズ

・ ボランティア保険には加入

参加条件の1つ; 集合してミーティングに参加できること

感じた概念の違い 「今を楽しむ」というラテン気質

日本 : 自発的に行っている。年齢層がやや高め。「働く事を楽しむ」

スペイン : 学生が中心。「楽しい」というのが大きいウエイトを占める。

「楽しむ為に働く」



【 上/岩瀬さん・下/村松さん】

スペインのリーグ戦でのボランティア運営は財団を通して行われている。(例、FCバルセロナやRマドリード)

FCバルセロナ : 財団とLa Caixa(銀行)

R・マドリード : 財団(障がい者プログラムもある)

今後に向けて活動の広がりを持たせるには、「どういうボランティアをすると、どういう長所(メリット)があるか」をしっかりと伝えていく取組みが大切。

尚、正式なフリートーク報告については、まとまり次第SV2004ホームページに掲載の予定です。



【 JR蘇我駅 】



【 フクダ電子アリーナ 】

サッカーのJリーグが誕生して15年、既に74年の歴史を刻むプロ野球と比べ、ホームタウン制度の採用もあり各クラブのサポーターの聖地ともいえるホームスタジアムを移転することはあまり例がありません。その稀有な移転を2005年に実行したのが「ジェフユナイテッド市原・千葉」(それまではジェフユナイテッド市原)でした。市原臨海競技場からフクダ電子アリーナへ、結果として交通の便はJR蘇我駅から徒歩10分とJ1屈指の利便性を獲得したものの移転そのものの影響はどのようなのか。そして、長いリーグ戦の中で厳しい戦いを強いられているチームのボランティア活動はどのようなものなのかを知るために活動体験に行ってきました。(ジェフユナイテッド市原・千葉以下、ジェフ)

2008年のJ1はまれに見る混戦となりました。過去3年でみれば勝ち点で35以上であればほぼ残留を確定できていたものが、2008年に限れば37では降格や入れ替え戦の対象となるのですから。そして前の日本代表監督のオシム氏が指導した関東の勇「ジェフ」もまた、その只中で苦戦していました。結果的には12月6日(土)に開催された最終節で、ジェフがFC東京に対し2点を先行されながらも4点を入れて逆転勝ちし、勝ち点を38に伸ばしたのに対し、東京ヴェルディとジュビロ磐田がそれぞれ負けたことで、勝ち点が37から伸びなかったため劇的なJ1残留を決めることになるのですが、その過程においてひとつのポイントとなった2008年10月5日(日)の対浦和レッズ戦でボランティア活動を体験してきましたので報告します。

< ボランティア活動 >

この日、天候は晴れのち曇り、相手が浦和ということで約1万6千枚のチケットは前売り段階で完売していました。2008年、ジェフは開幕から二つの引き分けをはさみ11試合勝てない状況が続いたものの、8月27日の磐田戦で引き分けからこの試合まで4連勝し残留にむけ勢いがついていました。一方の浦和は勝ちきれない試合が続き優勝争いに踏みとどまるには勝利が絶対条件となる、10月5日は互いに大きな意味をもつそんな試合だったのです。試合のキックオフは14時でしたが私たちは10時半にボランティア控え室に集合、グループごとのミーティング(配置先の連絡)のあと記者会見場での全体ミーティングに参加しました。進行はボランティアがつとめ座席の変更や車イスの申し込み状況などの説明のあとクラブ社員はいないまま警備会社スタッフによる点呼がありました。その後はそれぞれの活動場所に移動、私の担当はゲートまわりということでまずはプレートの配置をしたり座席の確認を行いました。11時半には優先入場が、12時には一般入場がスタートしその間隙を縫って12時半から30分ほど「昼食休憩」をとることができました。それからは続々と来場するお客様に対応し予定通り14時ゲーム開始、このゲームの間にコンコースのごみを集積所まで持っていきハーフタイムまで休憩しました。その後はゲートにもどり16時のゲーム終了を迎えました。終了時はゲートでごみの回収(ペットボトル・その他)をし、回収したごみを集積所に運び活動終了は16時40分、反省会ではみなさんの前でお話しさせていただきました。



【 ゲートボランティア 】



【 ボランティア控え室 】

<ジェフのボランティアについて>

では、ジェフのボランティアについてお聞きしたことを報告したいと思います。2008年シーズンの登録者は120名～130名、私の参加した日の参加者は48名とのことでした。年齢構成はバリエーションに富んでいるものの全国各地と同様に数自体は減少傾向とのことでした。参加地域はサポーターも同様ですが3年前までのホームの市原地域と現在のホームである千葉地域が多いそうです。ユニフォームは緑色のTシャツで前に「JEF UNITED」、背中に「VOLUNTEER」とプリントされているものとなっていて、警備のアルバイトさんも同様のためIDで区別しているようです。活動内容は「座席確認・車いす対応・ベビーカー預かりなどが中心で、試合終了後は全員でごみの回収を行います。また、常にではありませんが雨の日には席の拭き掃除も自発的に取組み観客が快適に観戦できるよう気配りしているとのことでした。こうした活動に対する特典として、クラブからは交通費として1,000円、飲み物と弁当、そして10試合活動するとチケットが提供されています。しかし、何よりおどろいたのは試合終了後にスタジアムDから「本日の試合では48名のボランティアの皆さんに・・・」というアナウンスでの紹介があったこと、ボランティア控え室の奥が選手のロッカールームということもあり、帰り際に「巻・早川・池田・下村」選手が立ち寄り「皆さんのサポートのおかげで勝つことができました。これからもよろしくお願いします」と挨拶に来てくれたことでした。クラブやチームの多くの人々がボランティアの存在に注目している。こうした心配りがチームとボランティアとの距離を縮め、ボランティアのモチベーションを高めてくれると感じうらやましく思った瞬間でした。



【 ジェフサポーター 】



【 レッズサポーター 】

<まとめとして>

ジェフでは30～40代の女性がリーダーとしていきいきと活動している姿が目立ちました。そのためでしょうか他のクラブとのボランティア同士の交流が活発です。チームとの関係も良いようで、スタジアムの大形画面には同じ地域にある千葉ロッテマリーンズの応援メッセージが流れていました。全体として派手な印象はありませんが、人や組織・地域のつながりにおいてさまざまな可能性を感じてきました。苦しかった2008年をひとつの糧として、2009年にどう変化するのかについても楽しみにしたいと思います。

【 「ジェフユナイテッド市原・千葉」について 】 補足説明

公式ホームページ <http://www.so-net.ne.jp/JEFUNITED/index.html>

クラブのプロフィールを見るとその歴史は古く、1989年にはプロリーグ検討委員会が設置され、1991年には発足するプロ10クラブのひとつとして、古河電工を母体として参加することが決まっています。そして1993年Jリーグが開幕、ジェフは市原市をホームタウンとして戦うことになったのです。その後2003年にイビチャ・オシム氏が監督に就任するといきなり優勝争いを演じ全国のサッカーサポーターの注目を浴びました。また、2005年には新スタジアム「フクダ電子アリーナ」に拠点を移し組織の充実をはかることになりました。

ボランティアページ [http://www.so-net.ne.jp/JEFUNITED/tools/cgi-bin/view\\_news.cgi?action=view&nid=3448](http://www.so-net.ne.jp/JEFUNITED/tools/cgi-bin/view_news.cgi?action=view&nid=3448)  
(2008年版)

上記のホームページによればボランティアの活動内容は「入場ゲートもぎり・スタンドでの案内・イベント補助・チケットチェック・スタンド清掃など」となっており、トップのゲーム以外にも「サテライトやアマチュア・レディース」などのサポートをすることもあるそうです。特に「ジェフリザーブス」は現在JFLに所属しており、また「ジェフレディース」はDiv2で2008年に優勝するなど、素晴らしい成績を残しています。

# 活動時にあると便利なもの

## 各地のスポーツボランティアに質問しました

### <調査の目的>

全国各地でさまざまなスポーツイベントを支えるボランティア、そこにはそれぞれの経験に基づく知恵と工夫があります。少しでも活動の負担を軽減できれば、そこで「ボランティア活動をする際にあると便利なもの」というテーマで全国のスポーツボランティアに質問してみました。良いものはぜひ共有したいもの、参考になれば幸いです。

【 協力いただいた地域 / 神奈川・宮城・千葉・広島・新潟・東京・茨城・岐阜・山梨・大分・静岡 / 回答順 】

### 持ち物を整理し、身軽に活動するために

#### ウェストポーチ

ボランティアとして活動する際には両手をあけて身軽に活動したいもの、また、特に貴重品は自己管理が原則ということでウェストポーチという意見が多くありました。<神奈川 / 岐阜 / 宮城など> 但し、自前のものを使用しているという声が多くまだボランティアの備品として一般化しているということではないようです。

#### クリアケース

ソフトタイプのクリアケースに当日の資料などを入れ、折りたたんでポーチなどに入れて持ち歩く<神奈川>と便利だそうです。特に雨が降るとポーチに入れていても紙の資料がボロボロになってしまうため必要とのことでした。

#### S字のフック

テントなど控え室がある屋外での活動時に、手荷物などをつるすために100円均一などで購入したフックをポーチなどに入れておくと大変便利、使い方はいろいろありそうです。<神奈川>

### 記録し忘れないために

#### 付箋紙

当日の注意事項のポイントを記入し自分のクリアケースやIDカードの裏に貼って忘れないようにしたり、何枚か書いて必要なメンバーに渡すなどのため大小2種類は持っている<神奈川>という意見や、ものを区分したり記録するのに活用<大分>しているという声もありました。

#### 筆記具

首からぶらさげるタイプのペンが必要という意見もありました。基本的にはボランティアの必需品といえそうですがいざというときに使いやすくするための工夫が大切になりそうです。<神奈川 / 東京など>

#### ボランティア活動記録

笹川スポーツ財団ではスポーツボランティア・リーダーの資格取得者に対して、「スポーツボランティア・リーダー活動履歴ファイル」を配布しています。これには基本的な心構えなどのほかに、研修受講の履歴や、活動の履歴を書き込みページがあり参考になります。

### エコ活動のために

#### レジ袋

最近はレジ袋の有料化も進んでいますが、折りたたんで持っていて会場の清掃作業の際などにごみを拾うのに使用している方は多いようです。また、汚れたものを拾う場合には手袋の代わりに使用するという報告もありました。<岐阜 / 宮城など>

#### 串専用のいれもの

割り箸の分別を行っているところも増えていますが、ごみ袋にそのまま入れるとケガをしたり袋の破損の原因となることから串をボランティア手作りのケースで分けているということです。<茨城>

#### 軍手や炊事用ゴム手袋

軍手だけでも重宝ですが水物などを扱う場合や防寒対策として重ねて使用しても便利という報告がありました。<神奈川 / 宮城など>

## 雨天時の活動のために

### ジップロック

食品を密封するジッパー付きのビニール袋、これをバッグの大きさや入れるものの大きさを考えて何枚か用意しておく、雨天時にぬらしてはいけないものを入れるのに便利、携帯電話も丁度いいサイズのものを用意すると袋越しに電話もメールも可能とのことです。〈神奈川〉

### 小型の柄付き吸水モップ

雨上がりなどに座席を数多く拭く為、ぞうきんでは手が痛くなってしまいますがカー用品店などで出回っている吸水の良いスポンジが先についたモップが便利です。もしくは、柄のない吸水スポンジでもいいですよ、と報告をいただきました。〈千葉〉



## 暑い時の活動のために

### 首と後頭部を覆うカバー

夏はランニンググッズのひもがついていて、帽子の上から装着しダランと後頭部にたらしておくとカバーが効果的、最近では水にぬらしておくで涼しくなる冷却効果の高い加工をしてあるものもあるそうです。〈神奈川〉 同様にバンダナが便利という報告もありました。〈新潟〉

### ペットボトル用カバー

酷暑の中では活動中の給水はボランティアにとっても大切です。そのためのカバーも重要。〈新潟〉

## 寒い時の活動のために

### 防寒タイツ

地域によっては寒い時期に長時間活動するケースもあります。風邪などひかないように防寒対策は欠かせません。〈新潟〉もちろん、前述の軍手をはじめ手袋も必要です。

## いざという時便利に使っています

### カットバン

活動時に支給されるものではありませんが持参している人はかなりいるのでは、自分だけでなく観客や仲間のために使ったという経験もあると思います。〈宮城など〉

### 養生テープ

掲示物を止めたり、配線などをまとめたり跡を残さないためガムテープではなく便利に使っているという声が多くありました。手だけで切れるのも評価されているようです。〈千葉/山梨など〉

### カッター

サンプリングやチラシなど配布物のひもなどを切るためなどに使用しているそうです。〈東京〉

### 小型ライト

夜間の活動時に持っている便利なのが小型のライト、ペン型などさまざまなタイプが出ています。〈宮城など〉

## 自信をもって観客対応するために

### 当日のスケジュール/イベント/配布物などの資料

当日の運営に関する基本的な資料は常に携帯し観客からの質問に備えたいものです。また、普段と違うスポーツなどをサポートする場合は「ルール」についての資料も大切です。その中でもプロスポーツのチームの多くが作成しているスタジアムガイドはポケットサイズで重宝しているということでした。〈広島/東京など〉

### 地域のミニガイドブック

特にアウェイの観客からの質問に備え、会場周辺の駐車場・交通機関・飲食店・みやげ物店・ATM・観光などの情報を提供できるようにしておきたいという声もありました。〈宮城〉

### 拡声器や案内看板

いざという時はわかりやすさが一番、特に誘導には効果的です。〈新潟〉

### 保険証や緊急連絡先のわかるもの

活動にはさまざまな年代の方が参加します。体調を崩すなど万が一の場合に備えて「保険証」や「緊急連絡先(自宅・かかりつけの医者など)」がわかるもの(手帳やカード)があると便利です。〈静岡〉

ご協力いただいた皆様、ありがとうございました。



# SV2004について

## 【誕生の経緯】

SVとは、文字通り「スポーツボランティア」の略であり、1998年からスタートした「ブランメル仙台」(現在はJ2ベガルタ仙台)のボランティアや2001年の国体、2002年のワールドカップ宮城大会のボランティア経験者の有志が集まり、幅広いスポーツをボランティアとしてサポートする目的で2004年に発足しました。

## 役割 (ミッション)

スポーツをより楽しくコーディネートし、ネットワークを通じて、環境改善にも取り組むことでスポーツの振興と、スポーツに関わる人々の社会的認知を高めることに貢献します。

私たちはスポーツのボランティア活動は「楽しく」あるべきだと思います  
そのため、ボランティアと運営組織、ボランティア同士のコミュニケーションを大切にします  
思いをともにする人々とのネットワークを構築します  
活動するボランティア環境の改善、そしてエコ活動にも取り組みます  
サポートするイベントが継続しよりよいものになるようサポートします  
スポーツボランティアの活動が多くの人に理解し知っていただけるよう活動します

## 活動 (アクション)

活動の記録・報告はSVホームページをご覧ください

スポーツ全般のコーディネート活動 … 楽天イーグルス・仙台89ERSボランティア組織立ち上げサポートなど  
スポーツ及びボランティアのセミナー活動 … 接客・エコ・救命・災害・コミュニケーション・入門セミナーなど多数  
スポーツに関する調査・企画・提案活動 … ボランティアアンケートの実施など  
スポーツ情報発信活動 … SVニュース、ホームページからの情報発信など  
スポーツネットワーク・交流活動 … 全国スポーツボランティアとの交流会の開催、東北スポーツボランティアサミットの開催  
スポーツ環境改善活動 … チーム・マイナス6%との連動・エコステーションの普及取り組みなど

会員募集中！自主企画も含めたSV活動全般に参加する正会員とボランティア活動のみを行う準会員  
・活動趣旨に賛同するサポート会員があります

## 【入会方法】

正会員 … 年会費3,000円 ・ 学生は1,500円 (年度は4月～翌年3月となります)  
準会員 … 年会費500円 サポート会員 … 年会費2,000円  
お支払い方法…郵便振込み 郵便口座 18190-25930651 SV2004まで(振込み料はご負担願います)  
または、SVが主催するイベント会場にて入会を受け付けます。(イベントはホームページでご案内します)  
申し込み先 郵送の場合 〒980-0811 仙台市青葉区一番町4丁目1-3 仙台市市民活動サポートセンター SV2004  
レターケースNO.50 (必ずレターケースNOをご記入ください)  
メールの場合 izumita@dm.mbn.or.jp FAX 022-274-1469  
申し込み書はホームページよりダウンロードできます <http://www.miyagi-sports.net/sv2004>

多くの大会でボランティアを募集中です

駅伝・マラソン大会ボランティア < 各大会のホームページより >

【箱根駅伝】 <http://ichiba.geocities.jp/hakone08/>

【ニューイヤー駅伝】 ボランティアページ

[http://www.city.kiryu.gunma.jp/web/home.nsf/HomePage/C86946866893EF6A4925743500064156/\\$FILE/01.pdf](http://www.city.kiryu.gunma.jp/web/home.nsf/HomePage/C86946866893EF6A4925743500064156/$FILE/01.pdf)

【全日本大学女子選抜駅伝】 ボランティアページ <http://www.drive-tkb.net/archives/805>

【全国都道府県対抗男子駅伝】 ボランティアページ

<http://www.sportsonline.jp/mutchres.asp?team=hatsukaichi.fc&contents=2>

【東京マラソン】 ボランティアページ <http://www.tokyo42195.org/2009/volunteer.html>

【名古屋国際女子マラソン】 ボランティアページ <http://www5.plala.or.jp/horioka/sub5.09.html>

【大阪国際女子マラソン】 モッピークラブがサポートしています。

<http://mic.e-osaka.ne.jp/ns-net/ns-net/moppyclub/nyukai.htm>

【名古屋シティマラソン】 ボランティアページ [http://nagoya-city-marathon.jp/volunteer\\_2.html](http://nagoya-city-marathon.jp/volunteer_2.html)

【北海道マラソン】 ボランティアページ <http://www.hokkaido-marathon.com/volunteer/index.html>

【湘南国際マラソン】 ボランティアページ <http://www.shonan-kokusai.jp/archives/volunteer/>

(注意) 内容は09年1月05日段階のもので、各運営組織の都合により変更される場合がありますのでご了承ください。

THANKS < 今月号のSVニュースの発行に対しご協力いただいた皆様、ありがとうございました。 : 順不同 / 敬称略 >

飯塚 寿代 小野 隆司 榎本 建志 亀田 武志 浅見 圭一 金子 法泰 大谷 光正  
山本 達也 木戸 浩司 猪瀬 義満 小沢 三紀夫 吉田 由利子 鈴木 達也 榊 勝明  
渡辺 英樹 竹鼻 純 池田 敦司 岩瀬 裕子

**スポーツボランティアの前向きな情報(募集・活動報告など)を募集いたします。経験をいかし、成功事例を学ぶ場としてSVニュース活用願います。(提供先は下記に記載)**

## スポーツ仙台

仙台市スポーツ振興事業団が隔月で発行している「スポーツ仙台」という情報誌にSV2004が紹介されています。この雑誌では「我が街ボランティア突撃隊」という特集ページがあり、これまでもさまざまなスポーツボランティアが紹介されてきました。「1-2月号」ではSV2004が対象となり副理事の村松さんが登場しています。

スポーツ仙台ホームページ <http://www.spf-sendai.jp/sportssendai/index.html>

SV2004紹介ページ [http://www.spf-sendai.jp/sportssendai/pdf/vo\\_69/P10.pdf](http://www.spf-sendai.jp/sportssendai/pdf/vo_69/P10.pdf)

バックナンバーもご覧になれます。

## 編集後記

あけましておめでとうございます。2009年もぜひSVニュースの作成にご指導とご協力のほどよろしくお祈りいたします。あわせて、皆様の今年の活動が楽しく充実したものになることを心より祈念いたします。

思えば2008年度中に作成したSVニュースではたくさんの方々から情報をいただき、そんな中から「ASAMI REPORT」や、「ボランティア調査」など、恒例となる企画も生まれてきました。うれしいのはさまざまなスポーツにボランティア活動が確実に広がり、ネットワーク作りや、スキルアップのための動きも見えはじめていくことがわかってきたことです。その意味ではサポートするチームやイベントは違ってもサポートしたいという気持ちには共通する点が多いということ、今年もそんな仲間とともに頑張ります。

このSVニュースはSV2004の公式ホームページでもご覧になれます。 <http://www.miyagi-sports.net/sv2004/index.php>

スポーツボランティア活動に関する情報をお寄せください。

情報提供先 [izumita@dm.mbn.or.jp](mailto:izumita@dm.mbn.or.jp)